

ハチ博士の ミツバチコラム

44



京都市立大学
坂本文夫名誉教授
(バイオ環境学部)

ミツバチの恵み

ミツバチが人間にもたらしてくれる恵みは八(蜂)あると言われます。この八つの恵みとは、蜂蜜、ローヤルゼリー、プロポリス、花粉、ハチの子、蜜蝋、ハチ毒、そして花粉媒介です。始めの五つは主に食品として、蜜蝋は化粧品などの原料、ハチ毒はリウマチなどの痛みを和らげる

薬品として、そして花粉媒介は確実な受粉によって農産物を高めるものとして私たちの生活に役立っているのです。最近、ミツバチと人間との関係について考える機会があり、八つの恵みの枠に入らない恵みが有ることに気付きました。そこで、ミツバチのミツにかけて、三つの恵みを追加したいと思います。



その1は、住みやすさの指標になるということ

です。飼育されているミツバチは厳密には環境指標生物とは言えないでしょう

が、庭や道端や果樹園に咲く花々にミツバチが訪花している風景は住みやすい環境そのものといえます。ミツバチを飼育して、その地域の安心・安全をアピールしようという運動も

始まっています。その2は、

人と人の縁を取り持つ不思議な力です。見知らぬ者同士が、ミツバチの話で盛り上がったたり、ミツバチが縁で仲間ができて、その輪がどんどん大きくなるという経験をしました。その仲間の輪が、ミツバチ以外のビジネスや地域振興などにも役立っているという体験談をいくつか聞いています。その3は、ミツバチの「癒し」です。最近、ミツバチの愛好家が増えています。その理由の一つが「懸命な姿に励まされ、元気をもらえるので飼いたい」なのです。ミツバチが居なくなると喪失感を感じていたが、再び飼い始めたらうつ症状が無くなったという実話を聞いたことがあります。

八つと三つ、合わせて十一の恵みですが、もっと有るかもしれません。先日、巣箱の前で寿命の尽きた一匹のミツバチを見つけ、手にとりました。そして、素直な気持ちで「沢山の恵みをありがとう、そしてお疲れ様!」と言うことが出来ました。